【こども音楽療育士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　こども音楽療育の基礎となる保育・教育・福祉の知識、音楽と発達の知識、音楽知識や技術を広く身につけ、実践学修ができる基礎能力を修得している。 | 1-1音楽の基本知識と音楽技術 | ①音楽理論、鍵盤楽器、打楽器、歌、身体表現、音楽遊びに関する基礎知識および基礎的な音楽技術がある。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2音楽療育に必要な基礎的な知識 | ②障がいのあるこどもたちを理解するための保育、教育、福祉、さらに心身の発達、障がい特性、保健について理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3音楽療育に必要な音楽知識・技術の活用力 | ③打楽器・鍵盤楽器などの楽器の名称と基本的奏法、コード記号について説明でき、簡単なピアノ伴奏の方法を説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ④簡単な曲の弾き歌いができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤手遊びや歌遊びを発達援助のために用いる遊びの展開および身体活動において実践ができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥保育の場で音楽遊びや身体表現活動の実践ができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑦こども曲の曲想や曲の構成を理解し、発達援助のために曲を簡単に構成できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　こども音楽療育の意義を理解し、専門知識・技術を修得している。 | 2-1音楽と発達の理解 | ⑧乳幼児、児童の心身の発達、音楽的発達、心身の発達と遊びとの関係を理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨障がい児保育、統合保育、通常保育における音楽の意義について理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2音楽療育知識 | ⑩発達障がい児、肢体不自由児、知的障がい児、視覚障がい児、聴覚障がい児などの障がい種別音楽療育の意義と具体的援助方法について理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3音楽療育に必要な実践力 | ⑪障がい種別、形態別(個別・集団)の療育の実践ができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑫発達を援助していくための音楽遊びを実践できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　こども音楽療育や音楽の演習を通して、専門知識や技術を使って総合的に実践する能力を備え、スペシャリストとして、学びを継続する重要性を理解している。 | 3-1音楽療育の総合的実践力 | ⑬障がい児との交流を通して、障がいについての理解を深めることができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑭療育や保育において発達を援助するための効果的な音楽の使用方法を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮心身の発達過程と音楽的発達の関係を体験的に理解することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2実践活動における学びの継続力 | ⑯障がい種別・形態別音楽療育の具体的援助方法の意義を見出し、簡単な実践をすることができ、さらに学びを深める重要性を理解している。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |